



2025年10月期 第3四半期

決算補足資料

正栄食品工業株式会社
(証券コード 8079 東証プライム市場)

I. 2025年10月期 第3四半期業績報告

II. 2025年10月期 業績予想

業績ハイライト (11-7月)



- ◆ 売上高につきましては、海外については円高による円換算額の減少もあり減収となりましたが、日本国内で乳製品、ドライフルーツ、菓子・リテール商品類などの売上が増加したことから、前年同期比で+7.5%の増収となりました。
- ◆ 利益につきましては、DXに向けた費用や人件費の増加などから販売費及び一般管理費が増加となりましたが、原料価格の上昇を反映した価格適正化により売上総利益が前年同期比+3.1%の増益となり、営業利益は同+0.0%の増益、経常利益は同▲2.4%の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は同▲5.1%の減益となりました。

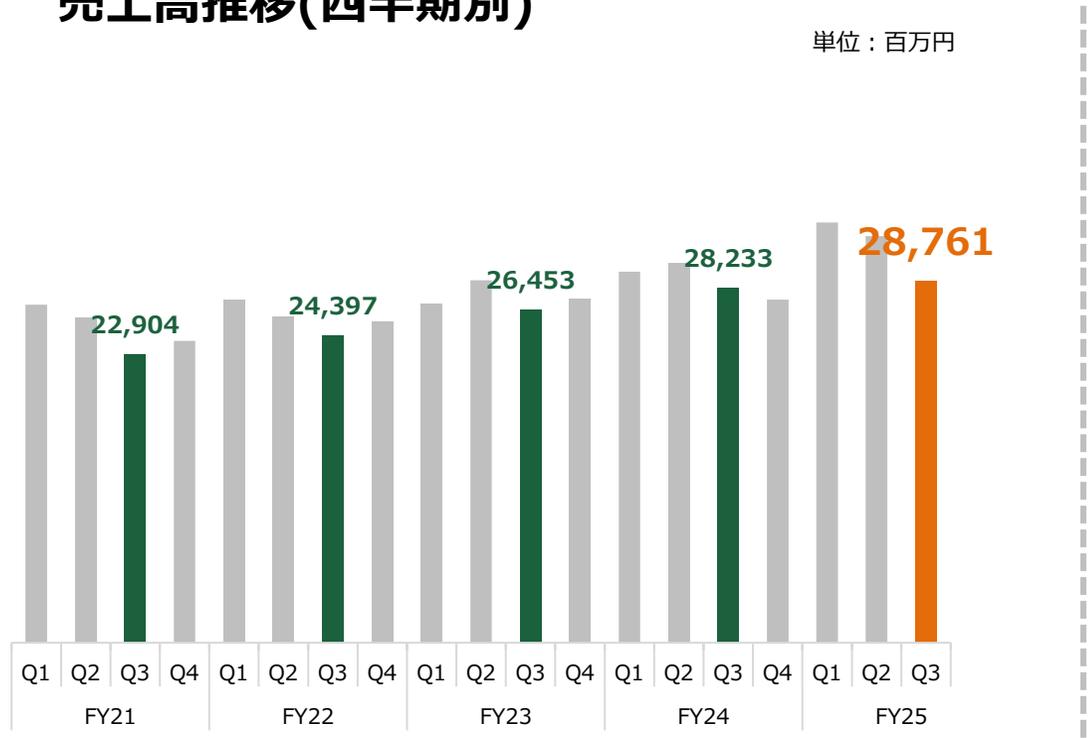
単位：百万円

	FY24/Q3	FY25/Q3	増減金額	前年同期比
売上高	87,926	94,526	+6,600	+7.5%
売上総利益	14,650	15,104	+454	+3.1%
営業利益	4,214	4,218	+4	+0.0%
経常利益	4,370	4,265	▲105	▲2.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,746	2,605	▲141	▲5.1%
売上高営業利益率	4.7%	4.4%	-	-

為替レート	: 米ドル	161.07円	144.81円
	: 中国元	22.04円	20.19円
	: 香港ドル	20.63円	18.44円

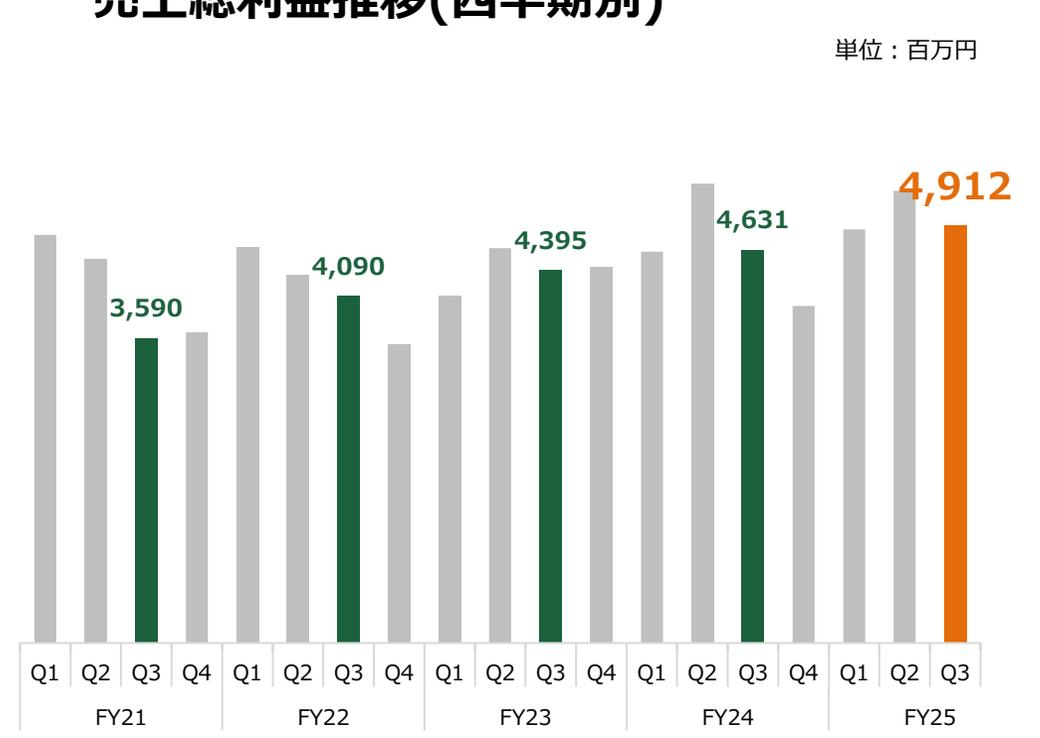
売上高推移(四半期別)

単位：百万円



売上総利益推移(四半期別)

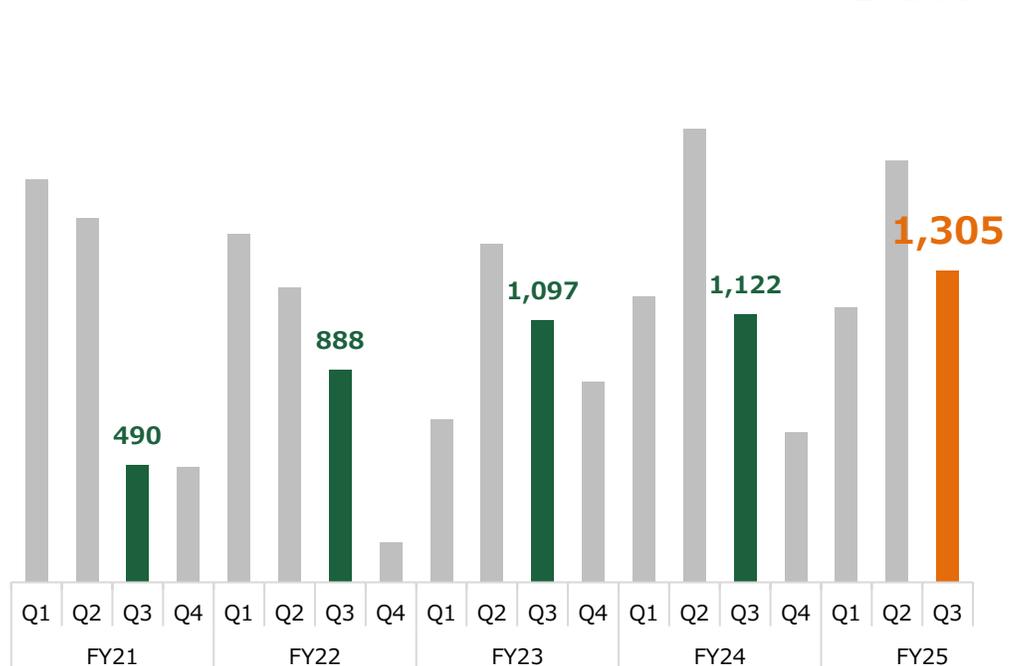
単位：百万円



- ◆ 営業利益は、人件費やDXに向けた費用等の物件費の増加したものの、価格の適正化により増益。同四半期で過去最高を更新。
- ◆ 前期比では、原価率の上昇や人件費・物件費が増加したものの、増収によりほぼ横ばい。

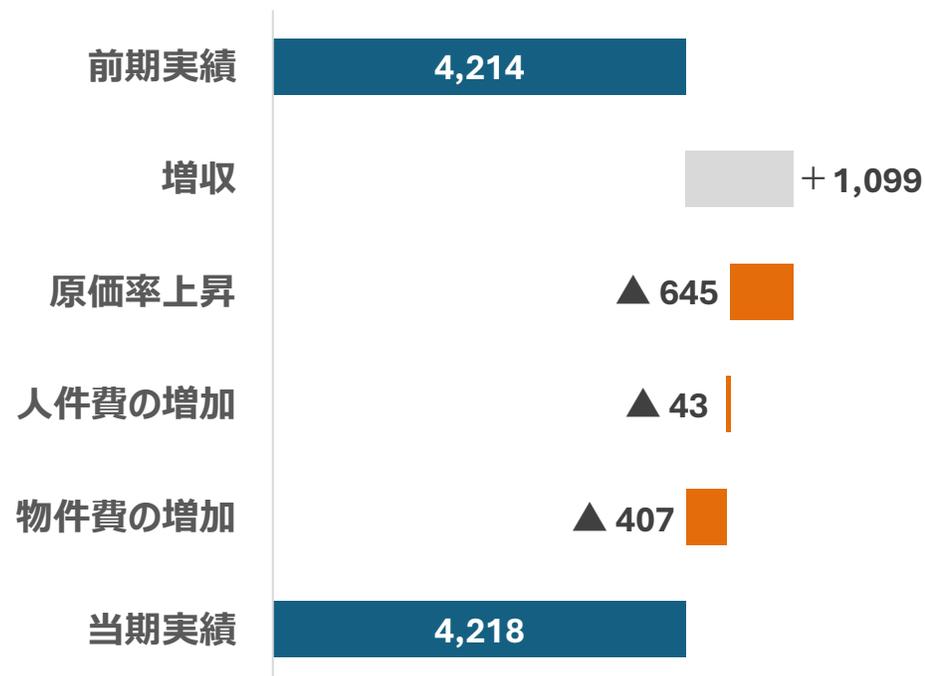
営業利益推移(四半期別)

単位：百万円



営業利益増減要因 (11-7月)

単位：百万円



セグメント別事業内容

ShoEi

日本

製菓・製パン業界を中心とした食品業界向けの食品原材料（乳製品、油脂、製菓材料、乾果実、缶詰、外食用食材等）の仕入れ、加工・製造、販売を主要業務としているほか、菓子類や乾果実類（ナッツ、ドライフルーツ）のリテール商品を製造して販売。国内に7工場を所有。

SHOEI FOODS (U.S.A.), INC

- ① クルミを農家から仕入れ、殻付きまたは剥き身に加工して主に輸出
- ② プルーンの仕入と販売
- ③ 乾果実類を米国内で仕入れ、日本（当社）へ輸出
- ④ プルーン・クルミ・アーモンド農園経営
- ⑤ 乾果実類を輸入し米国内で販売

青島秀愛食品有限公司

延吉秀愛食品有限公司

- ① 製菓原材料類、乾果実類の加工・製造
- ② 加工品、製造品の日本や欧州等への輸出
- ③ 上海秀愛国際貿易有限公司や香港正栄国際貿易有限公司経由で中国・香港内での販売

上海秀愛国際貿易有限公司

香港正栄国際貿易有限公司

- ① 主に乾果実類を輸入し、中国・香港で販売
- ② 青島秀愛食品有限公司、延吉秀愛食品有限公司で加工・製造した製品を中国・香港内で販売

米国



中国



セグメント別業績 (11-7月)

ShoEi

単位：百万円

	売上高				セグメント利益			
	FY24/Q3	FY25/Q3	増減額	増減率	FY24/Q3	FY25/Q3	増減額	増減率
日本	76,900	82,222	+5,321	+6.9%	3,532	3,866	+334	+9.4%
米国	8,598	8,366	▲231	▲2.6%	677	529	▲147	▲21.8%
中国	8,504	8,475	▲28	▲0.3%	398	203	▲195	▲49.0%
調整額	▲6,077	▲4,539	+1,537	-	▲393	▲380	+12	-
合計	87,926	94,526	+6,599	+7.5%	4,214	4,218	+4	+0.0%

日本

- ◆ 売上高は、原料価格上昇に対応した販売価格の引上げが進み、バターや粉乳などの輸入乳製品、レーズンやクランベリーなどのドライフルーツ、プルーン小袋などの菓子・リテール商品の売上が増加したことから、前年同期比6.9%増の822億22百万円となりました。
- ◆ セグメント利益は、DXに関わる顧問料や物流費などが増加し販管費は増加しましたが、値上げの進展により売上総利益が増加したことから、同9.4%増の38億66百万円となりました。

米国

- ◆ 売上高は、作柄の影響によりクルミやプルーンの入量・販売量が減少となりましたが、市場価格の上昇を反映した値上げにより米ドル建ての売上は増収となりました。しかしながら、前年同期比で約1割の円高となったことによる円換算額の減少があり、前年同期比2.6%減の83億66百万円となりました。
- ◆ セグメント利益は、クルミについては販売量が減少しプルーンについては値上げの遅れもあり減益となったこと、また円高の影響による円換算額の減少もあり減益となったことから、同21.8%減の5億29百万円となりました。

中国

- ◆ 売上高は、ナッツ類の中国内での売上は増加しましたが、ドライフルーツの日本向け輸出が減少し、円高による円換算額の減少もあり、前年同期比0.3%減の84億75百万円となりました。
- ◆ セグメント利益は、ドライフルーツの粗利が縮小したこと、中国内でのロジスティクスや拠点間の役割分担の見直しなど採算改善に向けた取り組みのための一時的な費用負担もあり、同49.0%減の2億3百万円となりました。

品目別の主要商品

大分類	中分類	主な商品
乳製品・油脂類	乳製品	バター、粉乳、練乳、液状乳製品、チーズ、乳糖、ホエイ
	油脂類	製菓・冷菓・製パン用油脂（マーガリン類、ショートニング等）
製菓原材料類	製菓材料	チョコレート加工品、製菓用焼き菓子、フルーツ洋酒漬（ラムレーズン他）、ピール加工品、フルーツファイリング
	栗製品	マロンペースト、栗甘露煮、マロングラッセ
	和菓子材料	さつまいも、杏仁霜、柏葉、桜漬葉
	製パン材料	上新粉、餅粉
	仕入商品	膨張剤・ゼリー、チョコ・ココア、蜂蜜・糖類、洋酒（リキュール類他）、抹茶、胡麻
乾果実・缶詰類	ナッツ&シード類	アーモンド、クルミ、マカデミアナッツ、ココナッツ、ピスタチオ、カシューナッツ、ヘーゼルナッツ、松の実、パンプキンシード
	ドライフルーツ	レーズン、プルーン、クランベリー、ブルーベリー、パイン
	フルーツ加工品	リンゴ加工品、マンゴー加工品、黄桃缶詰、パイン缶詰
	業務用食材	パスタ、スイートコーン、トマト加工品、オリーブオイル、デザート食材、冷凍フルーツピューレ
菓子・リテール商品類	菓子	チョコレート菓子、ビスケット
	リテール商品	ナッツ小袋、プルーン小袋、その他ドライフルーツ小袋、野菜加工品

品目別売上構成 (11-7月)

単位：百万円

	FY24/Q3		FY25/Q3		前年同期比	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
乳製品・油脂類	26,901	30.6%	29,629	31.3%	+2,727	+10.1%
製菓原材料類	13,971	15.9%	15,108	15.9%	+1,137	+8.1%
乾果実・缶詰類	32,014	36.4%	33,646	35.5%	+1,632	+5.0%
菓子・リテール商品類	14,852	16.9%	16,133	17.0%	+1,280	+8.6%
その他	185	0.2%	7	0.0%	▲178	▲96.0%
合計	87,926	100.0%	94,526	100.0%	+6,599	+7.5%

乳製品・油脂類

価格上昇もあり、粉乳やバターなどの輸入乳製品売上が増加し、国内仕入品の売上も増加しました。また、国内生産子会社の売上も値上げ効果等で増加となったことから、乳製品・油脂類売上高は前年同期比10.1%増となりました。

製菓原材料類

マロンペーストなどの菓製品の売上は減少となりましたが、製菓用焼き菓子、チョコレート加工品など自社加工製品やチョコレート・ココア類などの国内仕入品の売上が増加となりました。この結果、製菓原材料類売上高は前年同期比8.1%増となりました。

乾果実・缶詰類

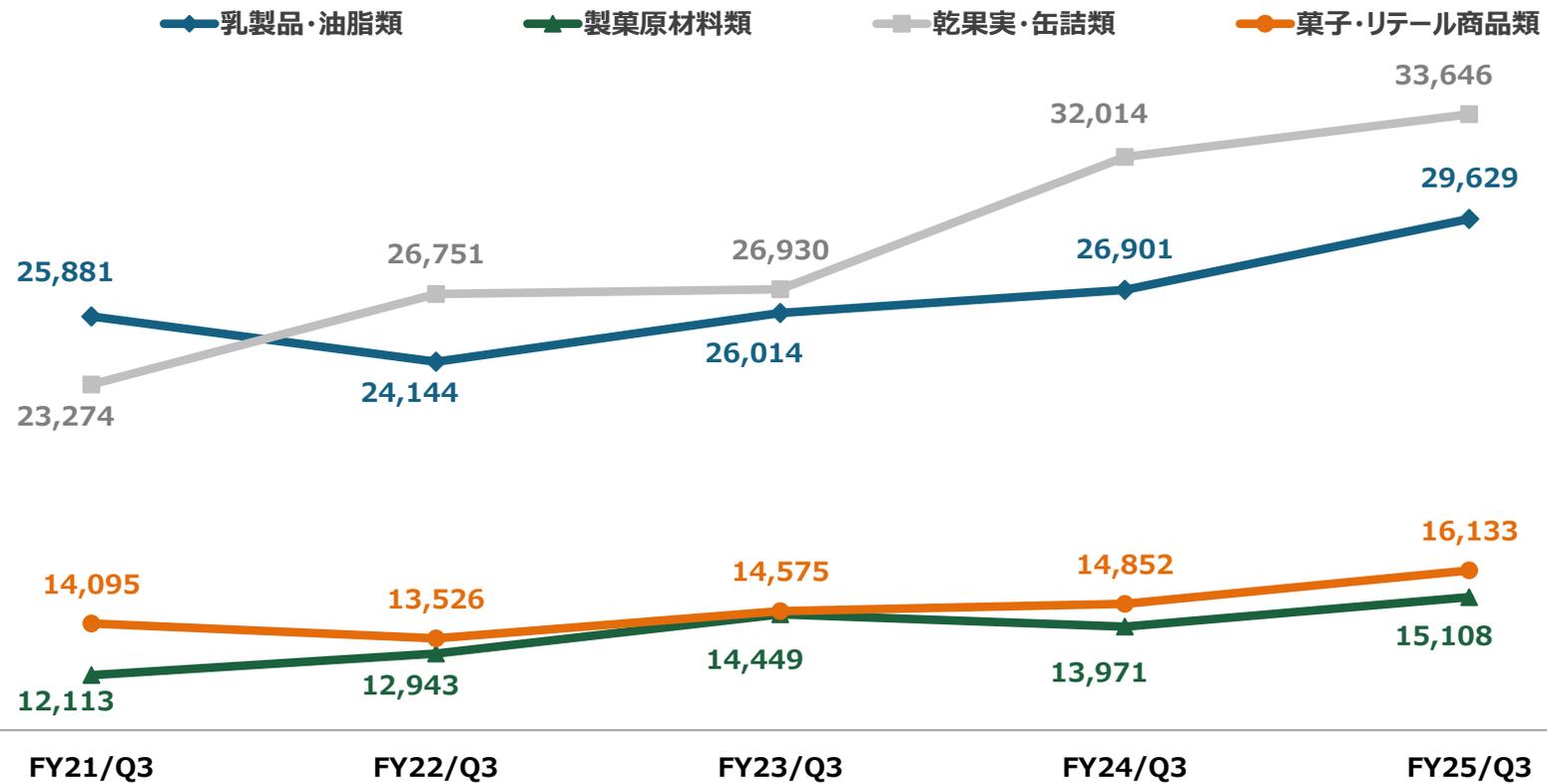
円高により米国、中国での売上の円換算額が減少となりましたが、日本でのナッツ、ドライフルーツの売上については単価の上昇を反映し増収となりました。これらの結果、乾果実・缶詰類売上高は前年同期比5.0%増となりました。

菓子・リテール商品類

カカオ原料価格の高騰による販売価格の上昇もあり、NBやPBのチョコレート菓子が増収となり、プルーン小袋などのリテール商品も売上増となりました。これらの結果、菓子・リテール商品類売上高は前年同期比8.6%増となりました。

品目別売上構成 (11-7月)

単位：百万円

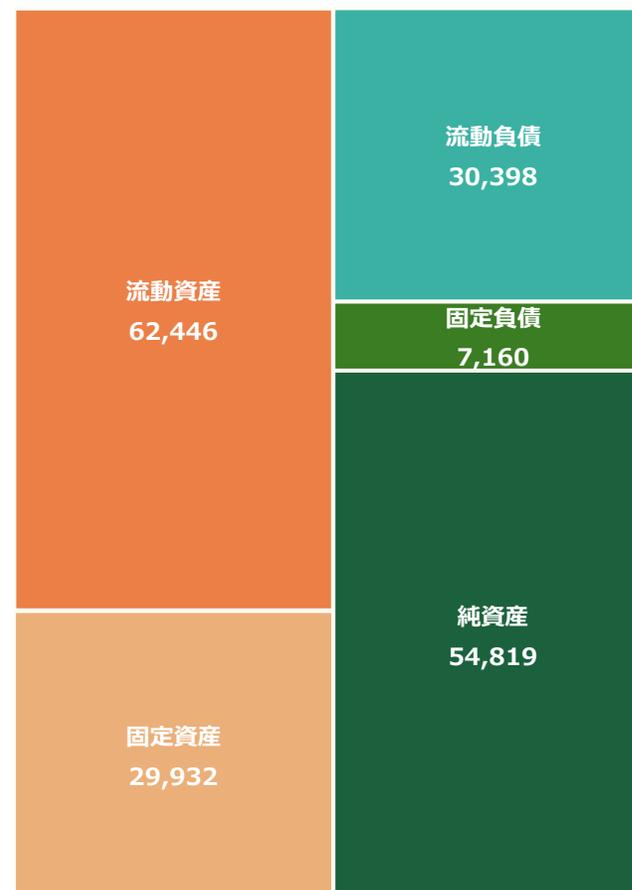


連結財政状況

- ◆ 固定資産は減少しましたが、受取手形及び売掛金、棚卸資産がそれぞれ増加となり流動資産が増加し、資産合計は増加となりました。
- ◆ 固定負債は減少しましたが、流動負債が増加し、負債合計は増加しました。
- ◆ 利益の内部留保により純資産は増加しました。

単位：百万円

		FY24	FY25/Q3	増減額	
資産	流動資産	現金及び預金	11,194	8,634	▲2,560
		受取手形及び売掛金	21,823	23,430	+1,607
		棚卸資産	23,775	28,639	+4,864
		その他流動資産	2,354	1,741	▲612
		小計	59,147	62,446	+3,298
	固定資産	有形固定資産	23,438	22,700	▲737
		無形固定資産	631	686	+54
		投資その他の資産	6,688	6,545	▲143
		小計	30,758	29,932	▲825
	資産合計		89,905	92,378	+2,472
負債	流動負債	25,789	30,398	+4,608	
	固定負債	9,946	7,160	▲2,786	
	負債合計	35,736	37,558	+1,822	
純資産	株主資本	47,259	47,837	+578	
	その他の包括利益累計額	5,910	5,899	▲11	
	非支配持分	999	1,082	+82	
	純資産合計	54,169	54,819	+650	
負債・純資産合計		89,905	92,378	+2,472	
有利子負債		17,486	20,493	+3,006	



I. 2025年10月期 第2四半期（中間期）業績報告

II. 2025年10月期 業績予想

2025年10月期 業績予想



◆ 2025年6月発表の業績予想から変更はありません。

単位：百万円

	FY24	FY25	増減金額	増減率
	実績	予想		
売上高	115,208	120,000	+4,792	+4.1%
営業利益	4,844	4,550	▲294	▲6.0%
経常利益	4,950	4,600	▲350	▲7.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,170	2,750	▲420	▲13.2%
1株当たり当期純利益	188円18銭	163円21銭	—	—

為替レート	：米ドル	142.73円	150.00円
	：中国元	20.46円	20.00円
	：香港ドル	18.37円	19.00円

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。